

令和8年度

地域社会の中の ダイバーシティ(多様性)

@埼玉大学

令和8年5月21日～7月16日(全8回) 埼玉大学大学会館



パートナーシップさいたま
さいたま市男女共同参画推進センター

趣旨

地域社会は多様な人たちによって構成されていますが、物事を決める場には、女性が少なく、男性が多いといった性別による偏りや、障害がある人への合理的配慮の欠如など、現実には様々な課題が存在しています。

この講座では、多世代の対話をベースに、地域の中のダイバーシティに目を向け、現に生じているジェンダーをはじめとする課題などに焦点を当て、一人ひとりが多様な選択肢を持ち生きていける地域社会のあり方や課題の解決策について考えあう時間をつくっていきます。

プログラム ※時間はいずれも10:40~12:10

	日程	内容	講師	詳細
1	5/21	講義&グループワーク	瀬山 氏	「意思決定過程への参画の現状」
2	5/28	ゲスト講師 講義	高橋 氏	「地域課題を解決する実践について」
3	6/11	グループ/テーマの決定	瀬山 氏	参加者でグループづくり・関心のあるテーマを決める
4	6/18	テーマについてのディスカッション	瀬山 氏	参加者同士で、テーマについて調べてきたことを出し合う
5	6/25	テーマについてのディスカッション	瀬山 氏	参加者同士で、テーマについて深める・課題発表に向けた準備
6	7/2	課題発表の準備	瀬山 氏	参加者同士で、課題発表の準備
7	7/9	課題発表の練習	瀬山 氏	参加者同士で、課題発表の練習
8	7/16	発表&講評	瀬山 氏	課題発表・講評・ふり返し 【講評者】 ・さいたま市議＊ ・イクボス共同宣言事業者＊＊

講師

・瀬山 紀子 氏(埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授)

大学院で社会学・ジェンダー論を専攻後、大学等で講師をしながら台東区、港区、埼玉県の男女共同参画推進センターで事業コーディネーターとして勤務。2022年6月より現職。共著書:『障害があり女性であること: 生活史からみる生きづらさ』(2023)、『災害女性学をつくる』(2021)。

・高橋 多佳子氏(一般社団法人コンパスナビ 理事)

一般社団法人コンパスナビ創設時から今日まで、社会的養護出身者アフターケア事業の確立に携わる。社会的養護を経験した若者たちの支援をするメンバーの後方支援、生活再建を目指す女性支援、刑余者の自立更生を担っている。

講義

<女性の参画>というテーマを考える

瀬山 紀子 氏

(埼玉大学ダイバーシティ推進センター准教授)

講 義

◆ダイバーシティの推進という課題

- 1)ダイバーシティ／多様性の推進という課題は、現にある「画一性」と「排除」について考えていくこと
 - ・社会の制度は、マジョリティにとって生活しやすく、マイノリティの人たちには生きづらさをもたらしている
 - ・制度設計や環境づくりの場に、誰の声が反映され、誰の声が反映されていないかを考えていく
- 2)決めごとの場の画一性について考えるために性別による偏り(ジェンダー)に視点を置くこと
 - ・さまざまな決めごとの場はどのような構成になっているのかを、特に性別による偏り(ジェンダー)に視点を置いてみていくこと
 - ・政策・方針決定過程への女性の参画、現状はまだ偏りがある
- 3)いまの社会のなかにある課題にどう気づくか
 - ・自分のなかに他者の視点をもつこと
 - ・社会のなかの自分の立ち位置を確認すること

ゲスト講師 講義

「地域課題を解決する実践について」

地域における女性支援と自立準備ホームの実践

高橋 多佳子 氏 (一般社団法人コンパスナビ 理事)

～安心できる居場所から、

未来への一歩をともに～

ゲスト講師 講義

一般社団法人コンパスナビについて

埼玉県さいたま市と久喜市を拠点に、

- ①社会的養護下にあるこどもたちや社会的養護を経験した若者
- ②被虐待経験等がありながらも、事情により養護を受けられなかった若者
- ③自立更生を目指す刑余者（罪を犯した経験のある人）

を主な対象とした支援活動を行っている。

ゲスト講師 講義

【主に実施している支援の内容】

就労支援・・・職業適性検査や仕事体験、就職情報誌の発行等

住居支援・・・住宅確保要配慮者の住まい探しのサポート

生活・自立支援・・・親に頼れない若者たちの生活上の様々な困り事への対応

居場所事業・・・社会的養護出身者を対象としたクローバーハウスの運営

イベント・セミナー・・・キャンプや農業体験、工場見学など様々なイベントの開催

「孤独・孤立」を、地域の「温もり」でやわらげる。

成果報告 テーマ

- ◆教育におけるジェンダーバイアスについて
- ◆『働き方』について
 - ～インタビューから見えた課題の検討～
- ◆障がい者の現状と適切な支援について
- ◆市議会議員の多様性を考える
 - ～「個人的」なことは「政治的」なこと～

成果報告会 講評者

- ・「さいたまミモザの会」より

稲川議員、西山議員、鳥羽議員

- ・さいたまイクボス共同宣言事業者より

株式会社埼玉りそな銀行 人財サービス部 友松 秀索 様

損害保険ジャパン株式会社 埼玉支店・埼玉中央支店

地域貢献推進部長 出水 祐樹 様

【参加のみ】

相川議員、佐々木議員、池田議員

講評より

- 政治については、議会の傍聴に一度足を運んでみると視野が広がると思う。
- おもちゃのラベリングについては、自分に置き換えても考えさせられた。
- 市のホームページを見やすくしてほしいという意見やチャットボットの見直しを望む意見に同意した。
- 議会の傍聴が可能なモニターの設置については、ぜひ参考にさせていただきたい。
- 男女別学問題について、歴史的背景をもう少し調べていただきたいと感じた。
- 政治について語れるような議会カフェという提案がとても良いと感じた。

参加者感想より

- 大人数で、学生と市民と一緒に1つのテーマをまとめることはとても大変でしたが、お互いを思い、お互いにできることを考えながら、発表することができたと感じています。
- 多様性は人権問題、政治は生活。これから社会に出る若者が、実社会で取組んで活動している方々の話を聴いて知ったり多世代で対話する、これがこの講義の一番のポイント。
- 今回は貴重な機会をありがとうございました。学ばなければいけないのは、私達中年以降の世代だと思いました。社会人や地域の方が多様性について学ぶことは、これからますます必要だと感じました。
- 世代や背景、立場を超えて多様な意見交換が出来る場所は貴重な体験となりました。
- 自分とは異なる考えや背景を持つ人との対話を重ねることが、多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくるために必要であると学びました。
- 学生さんや社会人の方々との出会いは、良い思い出になり、また、それらの出会いは私の感性を磨いてくれるとつくづく思いました。

報告者プレゼン資料

成果報告会

「地域社会の中のダイバーシティ」

教育グループ 2026.7.16

①幼児期

②男女別学

③地域差

④授業提案

上野 近藤 仁和 中山 鈴木 鈴木 杉山
小澤 島村 蜜澤 関 庄子 原田 武田

おもちゃのラベリング



それがジェンダーバイアスです



ジェンダーバイアスの定義

「ジェンダーバイアス」とは、性別の違いで特定の役割や行動などに思い込みや偏見を無意識に持つことを言います。ジェンダーバイアスによる影響として、女性議員や女性管理職の不足や男女間における賃金格差があげられます。

(プランインターナショナル)

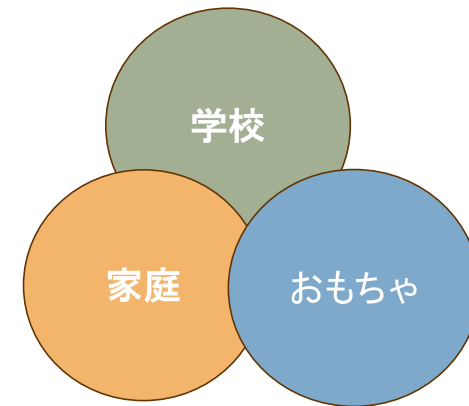
年齢別に見る ジェンダーバイアスの形成



(Martin, C. L.)

ジェンダーバイアスはどこで生まれるのか

様々な要因から



おもちゃのラベリングはなぜ悪いのか

性別に関する固定観念 おもちゃは子供の能力アップにかかわる

Ex) 人形遊び＝共感性
プラモデル＝空間把握能力
ボードゲーム＝論理的思考

(Davis, J. T.)

おもちゃ売り場や広告で「男の子用」「女の子用」と分けられると、「これは自分の性別には向いていない」という考えにつながる？

例えば、男の子が人形遊びをしたいと思っても、「女の子のものだから」と避けてしまう。

選択肢の減少につながる。



このキャンペーン、
さいたま市でも
いかがですか！？



解決策の提案

ラベリングを外す

(「Let Books Be Books」)

・・・「男の子用」「女の子用」といったラベルを
やめるよう、出版社に求める運動)

→本だけでなく、おもちゃにも適用すべき

(Let Toys Be Toys.)

引用

Davis, J. T. M., & Hines, M. (2020). How Large Are Gender Differences in Toy Preferences? A Systematic Review and Meta-Analysis of Toy Preference Research. *Archives of Sexual Behavior*, 49(2), 373–394. <https://doi.org/10.1007/s10508-019-01624-7>

Let Books Be Books. (n.d.). Let Toys Be Toys. Retrieved July 9, 2026, from <https://www.lettoysbetoys.org.uk/about/letbooksbebooks/>

Martin, C. L., Eisenbud, L., & Rose, H. (1995). Children's gender-based reasoning about toys. *Child Development*, 66(5), 1453–1471. <https://doi.org/10.2307/1131657>

プラン・インターナショナル・ジャパン. (2024, August 27). ジェンダーバイアスとは？身近な例や発生の要因、私たちにできること. プラン・インターナショナル・ジャパン. https://www.plan-international.jp/social_issues/gender-bias/

男女別学



現状①（公立の別学校）

埼玉県：男子校6校 女子高6校

群馬県：男子校5校 女子高5校

栃木県：男子校4校 女子高4校

北関東に集中している

現状③

県内トップ校が公立校かつ男子校で
それに次ぐ女子高との進学実績の差

栃木県	宇都宮	宇都宮女子
東大	17人	3人
京大	10人	1人
卒業生数	276人	276人
群馬県	前橋	前橋女子
東大	9人	2人
京大	2人	0人
卒業生数	262人	268人
埼玉県	浦和	浦和女子
東大	32人	9人
京大	14人	1人
卒業生数	353人	349人

現状②

・県内トップ校が男子校：9県

・公立・国立の男子校：3県+1都
※私立男子校もほぼ同率でトップ
（東京）

（私立が県内トップ：16県）

1	北海道	共学	公立	三重	共学	公立
2	青森	共学	公立	奈良	男子校	私立
3	秋田	共学	公立	京都	共学	私立
4	岩手	共学	公立・私立	大阪	共学	公立
5	山形	共学	公立	兵庫	男子校	私立
6	宮城	共学	公立	和歌山	共学	私立
7	福島	共学	公立	岡山	共学	私立
8	茨城	共学	公立	広島	共学	国立
9	栃木	男子校	公立	鳥取	共学	公立
10	群馬	男子校	公立	島根	共学	公立
11	埼玉	男子校	公立	山口	共学	公立
12	東京	男子校	私立・国立	香川	共学	公立
13	神奈川	男子校	私立	徳島	共学	公立
14	千葉	共学	私立	愛媛	共学	私立
15	長野	共学	公立	高知	共学	私立
16	山梨	共学	公立	福岡	共学	公立
17	静岡	共学	公立	佐賀	共学	公立・私立
18	岐阜	共学	公立	長崎	共学	私立
19	愛知	男子校	私立	大分	共学	公立
20	新潟	共学	公立	熊本	共学	公立
21	富山	共学	公立	宮崎	共学	公立
22	石川	共学	公立・国立	鹿児島	男子校	私立
23	福井	共学	公立	沖縄	共学	公立・私立
24	滋賀	共学	公立			

現状④

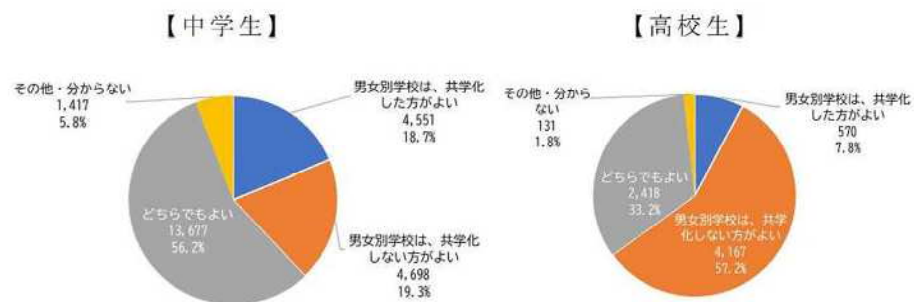
日本全国でトップの進学実績比較

全国トップ男子校の方が全国トップ女子高よりも
圧倒的に東大・京大への進学人数が多い
（浪人や1学年の人数の差は省いている）

兵庫県	灘高校	東京都	開成高校	東京都	麻布高校	神奈川県	聖光学院	東京都	鴎波大学附属駒場
東大	95人	東大	198人	東大	76人	東大	93人	東大	88人
京大	47人	京大	15人	京大	11人	京大	7人	京大	0人
卒業生数	224人	卒業生数	412人	卒業生数	306人	卒業生数	228人	卒業生数	160人？
東京都	桜蔭高校	東京都	女子学院	東京都	雙葉高校	神奈川県	洗足学園	東京都	聖島岡女子学園
東大	62人	東大	28人	東大	9人	東大	27人	東大	21人
京大	4人	京大	7人	京大	4人	京大	5人	京大	3人
卒業生数	218人	卒業生数	215人	卒業生数	174人	卒業生数	241人	卒業生数	240人

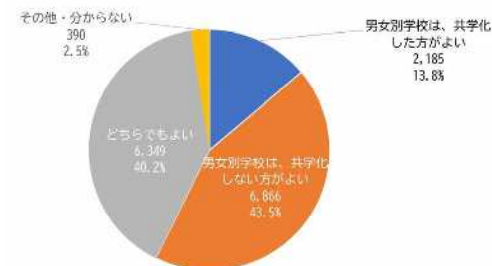
現状⑤（埼玉県のアンケート）

(カ) 県立の男女別学校 12校の在り方について選んでください。

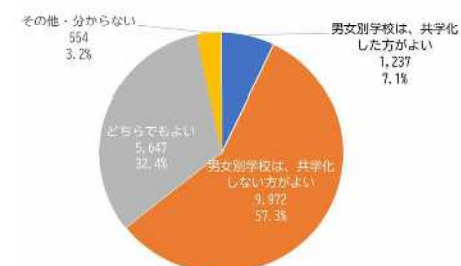


現状⑤（続き）

12校の在り方について選んでください。



12校の在り方について選んでください。



問題点

- ・別学がある地域が限られている
→生まれる地域は選べないため不平等
- ・女子という理由で進学実績の高い学校に行けない
- ・男女別学の環境による性別役割分業や固定観念が生まれる可能性

別学のメリット

異性を気にしなくて良い

歴史や伝統がある

男子だけ・女子だけの特別な青春

リーダーシップを育てやすい

結論

- ・別学ならではのメリットがあるので、男子校・女子高の統合は一概によいとは言えない
- ・地域による別学があるかないかの差があるため、選択肢の一つとして残すまたは地方にもあった方がよいといえる

！共学化は必ずしも必要とはいえない！

現在の課題

学習機会の不平等→地域によって差がある

都会 ⇔ 田舎 ex: 東京 ⇔ 東北
さいたま市 地域差が問題ではない？
駅近 ⇔ 郊外

○通塾率の差

＜地域＞	(小1～3)	(小4～6)	(中学生)	(高校生)
・都市部	25%	40%	60%	35%
	↓	↓	↓	↓
・地方	15%	25%	45%	25%

学習機会の不平等

どこに問題があるのか

問題は地域差だけではない。

→子供が学習する場所の選択肢を大人が狭めてしまっていることが原因

＜大人たちの現状＞

両親が共働きをしている。

→ 親の地域交流が減少する ＜親の孤立化＞

→ 親の凝り固まった視点が子供に刷り込まれる ＜バイアスの再生産＞

大人が多様な選択肢を子供に提示してあげる → 学習機会の選択

これは、どの地域でもできること

多様な選択肢を提示するために

①親の教育:自分で選べる子供を育てる

- ・動画を作る:オンライン・ライブラリ化
- ・保育園との協力:保育園や学校とできる親育。

②子供の教育:未来に“親になる”子供たちへ

- ・私たちが今度は親世代になる。『子供のころはこうだったから』ではなく、その時代に合わせた教育を行ってほしい。
- ・教員や保育士、親だけでなく、地域全体で多様な視点を持つ子供を育てていく。

個人の価値観と教育の在り方



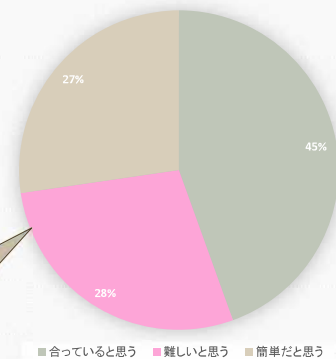
現在の課題

○今の学校教育
中間層に合わせた授業が中心
(中間層:成績が真ん中の子)

→良い授業？

実際に授業が合っていると
感じている子どもはわずか45%

授業に対する本音(小学校4年生)



課題解決のためのキーワード

・個別最適な学び

児童生徒一人ひとりの特性や学習進度に応じた学び

・協働的な学び

他者との対話や共同作業を通じて問題解決をする学び

→個人の価値観尊重のためには、どちらも不可欠

解決策

①クラス分け・授業選択の柔軟性

- ・子どもの意思＋先生の判断(成績)
- 子どもに合った授業を選べるように

②授業形態

- ・生徒主体の授業
- 国語や算数などで、子どもが先生役になる



まとめ

教育とは何のためにある？

望ましい姿って、誰にとって？
均質な能力育成→他や社会のため？

「教育」の定義(広辞苑より)

人間に他から意図をもって働きかけ、**望ましい姿**に変化させ、価値を実現する活動。

「**自分のために**」主体的に教育を選択できる社会へ



教育班・まとめ

大人 → 子供に**多様な選択肢**を提示する

子供 → 与えられた選択肢から**自分で選ぶ力**を持つ

時代に合わせて**教育**にも多様な選択肢を！

『働き方』について

～インタビューから見えた課題の検討～

田仲 下家 高瀬 鈴木 那須 上田 荒井 栗原

さいたま市役所職員の方に、3つの項目でインタビューを実施。

- ①労働時間
- ②男女共同参画
- ③性的マイノリティ

各項目について『課題』と『施策』を検討

インタビューの回答

- 部署によって残業時間に差がある
- 企画は残業多い、窓口が少なめ
- 引っ越しが多い時期は残業が特に増える
- 子育て中は他の人がカバーし、負担が増える
- 急に選挙になると仕事が増える
- 窓口の仕事をすると企画の方へキャリアアップしにくい
- サービス残業はない

市の職員の現状

- ①選挙期間 期日前投票→業者との対応
- ②市議会 議員さんの質問に対する答弁内容の作成
- ③窓口業務が増える期間

それぞれの施策を考える

①選挙期間

投票の仕方の見直し

- ・電子化を進める、オンラインの導入
→不正投票もあり、課題が残っている
学校でもデジタル教科書が導入済
- ・期日前投票の電子化
- ・業者対応する人材を確保する



②市議会

- ・定例会が年4回
- ・議員さんに早めに質問を出してもらおう
- ・期限を決める

③窓口業務が増える期間

- ・他の部署から人材を確保
- ・その季節だけ外部からも人材を集める
- ・オンラインを進める

大学生にできること

- ・就活で育休制度や残業がないなどの仕組みがしっかりしたところを選ぶ
→そのような企業が人気になり、逆にそうでない所に人が集まらなくなる
→人材を得るために他の企業も制度を取り入れる

②男女の役割 課題

現状の課題

- ・女性の方が子育て期間によるブランクの影響を受けやすい。
- ・制度はあるが、その後のキャリアに関するフォローが不十分。

育休取得後のキャリア形成を支援する3つの施策

②男女の役割 施策

民間企業の取り組みを参考に、課題を解決するための施策を提案します。

①メール等の活用

- ・人事・組織の変更
- ・業務に関するお知らせ（業務マニュアルの変更など）
- ・職場の雰囲気や様子

- ・職場とのつながりを感じやすくなる。
- ・復帰後における業務上の戸惑いを低減する

②産休・育休取得者のコミュニティ

- ①"子育て"に関するナレッジのシェア
- ②オンラインの座談会や定期的な交流

- ・「社内ならではの仕事と育児の両立のコツ」がコミュニティ内に蓄積
- 先輩パパ・ママ社員を参考に、多様な働き方をイメージできる。
- ・心理的な孤独感の解消

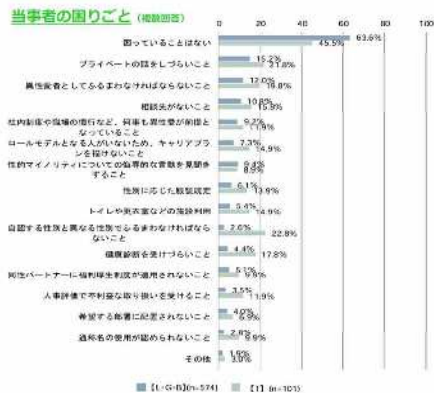
③スーパーフレックス

フレックス制から「コアタイム（必ず労働する時間帯）」を削除

制約：労働可能な時間帯
合計労働時間

- ・都合を合わせるのによく、子育てと並行がしやすい
- ・復帰後のように多忙な時期でも柔軟な対応可

現状・課題③性的マイノリティ



経済産業省トイレ利用制限事件

経産省職員Aさん(トランス女性)は執務階付近の女性トイレの使用を認められず、遠い階のトイレを使わざるを得ない処遇を受けていた。

最高裁は、Aさんの不利益を軽視した判断を違法とし、個別事情を踏まえた柔軟な処遇の必要性を示した。

現状・課題③性的マイノリティ

＋面

- ・公的機関における「性的マイノリティ」コンプライアンス研修
- ・企業の取り組み

－面

- ・性的マイノリティの約半数が職場で困りごとを抱えている
- ・多目的トイレなど設備が不十分(階が限られる)

③性的マイノリティ

企業が性の多様性に関する取り組みを進める必要性

全ての人にとって働きやすい職場環境は生産性の向上にもつながる

人権尊重やハラスメント対策

解決策③性的マイノリティ

- ・民間企業でLGBTQに関するコンプライアンス研修義務付ける
- ・性的マイノリティに関する相談所の設置
- ・多目的トイレの各階設置義務化

にじいろ企業研修【実践編】（講師派遣による研修）

企業に講師を派遣し、対面やオンライン又はハイブリッドで、従業員を対象とした性の多様性に関する研修を実施いたします。（無料）
基礎知識やケーススタディ、ワークを取り入れた研修で、60分・90分・120分の3パターンからお選びいただけます。
お問合せ後、事務局より具体的な御要望をヒアリングし、日程調整させていただきます。

参考資料

- ・育休コミュニティ『MIRAIS』
<https://www.ikukyu-mirais.com/>
- ・LINEヤフー社『DE&Iに関する取り組み』
<https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/esg/social/human-capital2/>
- ・「Diversity&Inclusion」
https://www.kankeiren.or.jp/diversity-inclusion/case/case_44/
- ・「サイバートラストの働き方」
<https://www.cybertrust.co.jp/corporate/recruit/blog/workstyle/workstyle-of-cybertrust.html>
- ・「スーパーフレックスインタビュー＜育児編＞」
<https://www.cybertrust.co.jp/corporate/recruit/blog/workstyle/super-flex-interview.html>
- ・多様な人材が活躍できる職場環境づくりに向けて(厚生労働省)
- ・性の多様性に関する企業を対象とした取組について - 埼玉県
- ・にじいろ企業研修【基礎編】の開催 - 埼玉県
- ・電子投票は活用すべきなのか…信頼性の確保と投票環境の整備に課題

障がい者の現状と適切な支援について

大嶋 河村 穂積 森 諸山 望月 黒木 有山 杉山 渡辺

1. テーマ設定の理由
2. 身体障がい者
 - 2-1. 身体障がい者の現状と課題
 - 2-2. 身体障がい者に対する支援
3. 精神障がい者
 - 3-1. 精神障がい者現状と課題
 - 3-2. 精神障がい者に対する支援
4. 私たちから社会へ

1. テーマ設定の理由

- ・なぜ障がいというテーマにしたか
今までに障がいを持つ方やその関係者と関わった経験があるから
- ・なぜ身体と精神で分けたか
「見える」か「見えない」か課題の本質が違うから

2-1. 身体障がい者の現状とその課題

社会的な現状

- ・スロープの設置が増えてきている@駅、学校など
- ・車いすで電車に乗るときに駅員さんが助けてくれる
- ・学校では、普通学級と特別支援学級が分けられている
- ・すべてのサービスが自由に受けられるわけではない
- ・破損している点字ブロックがある
- ・障がい者の雇用率は上昇傾向
- ・学校教育の探究活動が進路・キャリア形成に偏っている

⇒制度や環境はある程度整っているのではないか

2-1. 身体障がい者の現状とその課題

心理的な現状 学校教育で障がいについて学んでいるものの、
・ かわいそう ⇒ 何を学んだかは覚えていないという意見が多い
・ 大変そう 困っているのを見かけたら助けたい

当事者の意見

- ・ 自分でできることは可能な限りやりたい
- ・ 受け入れ方や接し方に大きな差がある

⇒ **理解は進んでいるが、行動などに表面化しない**

2-2. 身体障がい者に対する適切な支援

- ・ サービス、イベントを自由に利用できるような体制を整える
→ 整えたうえで広く普及させる、市町村で統一的な体制
- ・ 介助犬マークなど、支援サービスが受けられる目印を増やす
→ **ヘルプマークの種類を増やす**
- ・ 幼少期からの教育
→ 障がいの有無ではなく「個」としての支援を

3-1. 精神障がい者の現状と課題

- ・ 受け入れてくれる人がいないと生きづらい
- ・ 理解されないことによる孤独感
- ・ 適切な治療に繋がりにくい
- ・ 家族や友人など支援する側のメンタル
- ・ 支援する側の人手不足
- ・ 自殺未遂、自傷行為による命の危険
- ・ 偏見の目にさらされる etc...

3-1. 精神障がい者の現状と課題

- ・ 受け入れてくれる人がいないと生きづらい
- ・ 理解されないことによる孤独感
- ・ **適切な治療に繋がりにくい**
- ・ **家族や友人など支援する側のメンタル**
- ・ **支援する側の人手不足**
- ・ 自殺未遂、自傷行為による命の危険
- ・ 偏見の目にさらされる etc...

3-1. 精神障がい者の現状と課題



福祉ガイドまでたどり着くために時間がかかる！

3-1. 精神障がい者の現状と課題

②さいたま市の支援実態

「ケアラー支援条例」
「ケアラー電話相談」・・・24時間365日 専門家が対応
「こころの健康センター」・・・直接相談 平日9～17時
「交流場所の提供」
「講習会の開催」

⇒能動的に動かなければいけない支援が多い

3-1. 精神障がい者の現状と課題

①

① さいたま市障害者福祉ガイド (PDF形式 10,332キロバイト)
② 支援～広告 (PDF形式 963キロバイト)
③ 01_目次～障害区分・サービス一覧 (PDF形式 1,072キロバイト)
④ 02_第1章_相談窓口 (P3～) (PDF形式 416キロバイト)
⑤ 03_第2章_手帳の交付 (P13～) (PDF形式 260キロバイト)
⑥ 04_第3章_ノーマライゼーション条約の概要 (P16～) (PDF形式 155キロバイト)
⑦ 05_第4章_障害者総合支援法のサービス (P18～) (PDF形式 308キロバイト)
⑧ 06_第5章_児童福祉法のサービス (P23～) (PDF形式 169キロバイト)
⑨ 07_第6章_医療費等 (P24～) (PDF形式 441キロバイト)
⑩ 08_第7章_手当・年金・給付金・貸付 (P31～) (PDF形式 357キロバイト)
⑪ 09_第8章_職業生活の支援 (P38～) (PDF形式 637キロバイト)
⑫ 10_第9章_外出の支援 (P50～) (PDF形式 440キロバイト)
⑬ 11_第10章_社会参加の促進 (P58～) (PDF形式 288キロバイト)
⑭ 12_第11章_税の控除・減免 (P64～) (PDF形式 355キロバイト)
⑮ 13_第12章_公共料金の割引 (P72～) (PDF形式 332キロバイト)
⑯ 14_第13章_貸付 (P78～) (PDF形式 1,103キロバイト)
⑰ 15_第14章_教育 (P84～) (PDF形式 225キロバイト)
⑱ 16_第15章_住宅 (P87～) (PDF形式 148キロバイト)
⑲ 17_第16章_福祉施設等 (P89～) (PDF形式 162キロバイト)
⑳ 18_資料編 (P91～) (PDF形式 4,460キロバイト)
㉑ 19_白紙広告 (PDF形式 2,762キロバイト)
㉒ 【PDF】令和7年度さいたま市の障害福祉施設等一覧 (PDF形式 476キロバイト)

探しづらい！
アクセシビリティX

3-1. 精神障がい者の現状と課題

③支援者の人手不足

しかし専門家を増やすことは難しい

支援の専門化・設備の普及
⇒専門家以外の人の「支援離れ」
⇒障がい者との見えない壁
人同士のつながりが薄くなっている

⇒「ケアができる人」を増やす必要がある

3-2. 精神障がい者に対する適切な支援

- ①適切な支援へスムーズに繋げるため、さいたま市のホームページに**チャットボット**を導入する
- ②被支援者と支援者への両方のカウンセリングを義務付ける
- ③ケアする人の不足→市から会社や学校に向けた**講習会**の開催
→相談先を増やす
ステッカーの配布

4. 私たちができること・求めること

- 障がい者と交流する場を増やす
- 被支援者・支援者が利用できるサービスの充実
→世の中へ周知を促す
- 総合的な学習の時間で障害者に関するテーマを組み込む
→講義の内容を「体験型」にする

市議会議員の多様性を考える

～「個人的」なことは「政治的」なこと～

より住みやすい街 より住み続けたい街 さいたま市へ

〈政治グループ〉

井上 佐藤 順西 瀧川 高橋 宮井 吉澤

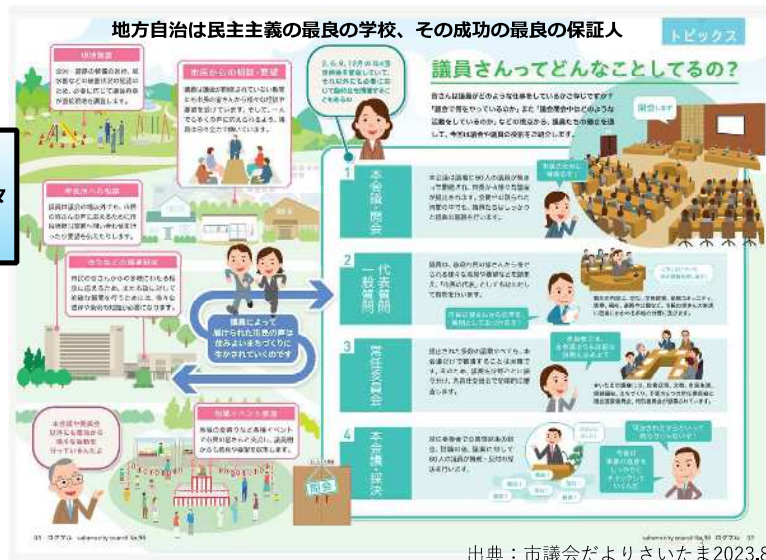
発表の構成

1. さいたま市の現状
2. リサーチクエスチョン
3. アンケート調査と考察
4. 私たちのアイデア
5. まとめ

2



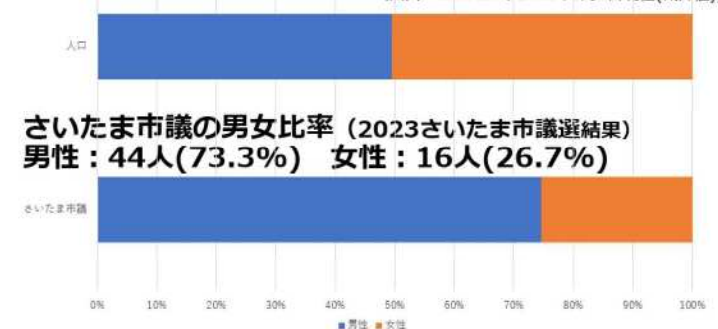
市議会議員の
多様性が必要



出典：市議会だよりさいたま2023.8

1.さいたま市の現状

さいたま市の総人口1,355,984人
男性：671,326 (49.5%) 女性：684,658 (50.5%)
(出典：さいたま市2026年1月1日現在(概算値))



4

2023年さいたま市議会議員選挙 立候補者数

総立候補者数		全区平均年齢	女性立候補者数				
90人		51.6歳	21人				
最年少		25歳	最多：4人（南区）				
最高齢		83歳	最少：0人（中央区・岩槻区）				
20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
2人	14人	23人	25人	21人	4人	1人	

男女だけの問題ではない？

5

2.RQリサーチクエスチョン

授業では**女性議員が少ない**ことを学習し、議員の多様性の必要性を感じた。

調べてみると**女性だけではなく、若い世代の立候補者が少ない**ことが分かった。
またこのままでは、議員の多様性は高まらず、今後無投票当選の可能性も出てきてしまうのではないかと考える。



どうしたら若い世代や女性も立候補するのか？

6

3.アンケート調査と考察

①受講者向けアンケート

〈内容〉

1. 年代
2. 性別
3. 現在つきたい職業はあるか？
4. 選挙中に様々なサポートがつき、絶対に選挙で当選するとしたら、政治家になりたいですか？
5. 4.で、なりたくないと回答した方はその理由
6. 政治家のイメージ？

7

①アンケート 受講者の声より

行動の制限

政治に興味がない

確実に当選するとしても立候補しない理由

誹謗中傷のリスク

政治家のことをよく知らない

8

3.アンケート調査と考察

②市議会議員向けアンケート

〈内容〉

1. 年代
2. 性別
3. お名前（任意）
4. 身近な人（親族や友人など）で議員の経験のある人はいますか？
5. 議員を目指そうと思ったきっかけを教えてください。
6. 落選というリスクについてどうお考えですか？
7. 議員の多様性があることによってどのような影響があると思いますか？
8. 女性議員の増加によりどのような変化がありましたか？

9

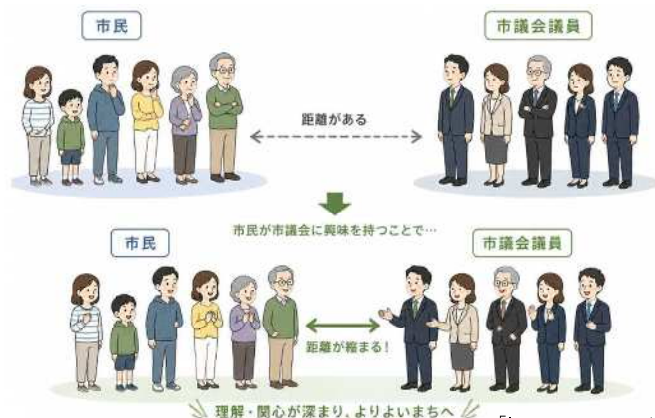
②アンケート 市議会議員の方より

市議会議員を目指そうと思ったきっかけ



「Image generated by ChatGPT」¹⁰

政治を身近にする ➡ 市議会を傍聴



「Image generated by ChatGPT」¹¹

さいたま市議会



傍聴席

8 4 席のみ

聴覚サポート

車椅子利用

傍聴者ロビー



テレビ画面で議場の様子
を見ることができる

インターネット議会中継



さいたま市議会 傍聴者数

2025.6月定例 開催日	6/11	6/12	6/16	6/17	6/18	7/3	7/4	合計
傍聴者数	63	13	18	16	22	2	15	149

2025.9月定例 開催日	9/3	9/4	9/8	9/9	9/10	10/16	10/17	合計
傍聴者数	5	2	22	54	29	0	1	113

2025.12月定例 開催日	11/26	11/27	12/1	12/2	12/3	12/18	12/19	合計
傍聴者数	1	6	27	12	36	3	12	97

2026.2月定例 開催日	2/3	2/4	2/9	2/10	2/12	3/11	3/12	合計
傍聴者数	3	0	4	15	30	5	16	73

2026.6.29 電話にてさいたま市議会・議事調査部に確認

4.私たちの考えたアイデア



市議会を身近に！ ➡ 政治を身近に

アイデア① 💡 みんなで市議会に行こう！

◆ 小学校で社会科見学



◆ 市議会傍聴で『たまポン』ゲット

◆ 傍聴席の増設
更なるバリアフリー化



アイデア② 💡 みんなで観よう！話そう！

◆ 市役所や駅などでのライブビューイング

◆ オープンカフェ



「Image generated by ChatGPT」



さいたま新都心駅大型ビジョン

5.まとめ

傍聴などを通して
政治が身近に
なる

若い世代や女性
など様々な人が
立候補する

市議会議員の
多様性が高まる



17

参考資料

さいたま市HP <https://www.city.saitama.lg.jp/>

さいたま市議会だより ロクマル No.96

世界価値観調査1990-2024日本時系列分析レポート 電通総研・同志社大学

https://www.dentsusoken.com/sites/dentsusoken_default/files/2024-12/WVS8_Japan2024.pdf

パリテ・アカデミー <https://parity-academy.org/index.html>

FIFTYS PROJECT <https://www.fiftysproject.com/donation/>

NHKスペシャル取材班,「地方議員は必要か」,文春新書,2020年

18

『「個人的」なことは「政治的」なこと』

The personal is political

ご清聴・アンケートのご協力ありがとうございました

19